内部不正リスク分析サービス

企業や組織の内部関係者の不正行為による情報漏洩事件が多数発生しており、企業の存続を脅かす内部不正はもはや他人事ではありません。TISでは、アセスメントツールを利用した分析を行い、短期間での内部不正リスクの実態把握を行います。

内部不正対策における課題

検出

リスクを冒している者の調査把握ができない

時間

調査把握には時間が掛かりそう

費用

多額な費用が掛かりそう

内部不正リスク分析サービスなら

機密情報持出者の特定が可能

ハラスメント実施者の特定が可能

ご契約の1か月後には内部不正の実態把握が可能

本サービスは1,500,000円からご提供が可能

Office365をご利用のお客様環境へMicrosoft365のセキュリティ機能を追加。
低コストかつ短期間で内部不正リスクの実態把握を行います。

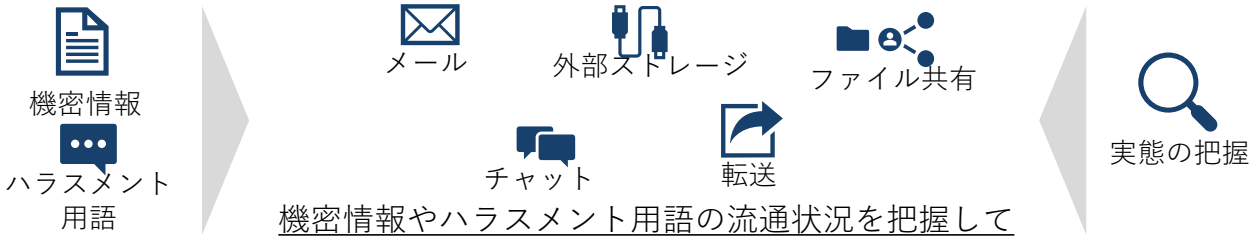
TISのマネジメントセキュリティの知見を元に
貴社の内部不正リスクの実態を把握します。

アセスメントサービス

以下の2つの観点からクラウドストレージ・Officeツールにアセスメントを行います。

1.クラウドストレージに保有している機密情報の漏えいリスクを分析。
- 個人情報や機密情報ファイルの存在状況
- 組織外や組織内へのファイル共有状況

2. メール、添付ファイル、Teams等のチャット、ファイル共有等を用いた機密情報の共有や、ハラスメントに係る会話・用語の流通状況を分析。
- 内部不正やハラスメントにつながるリスクの可視化



機密情報やハラスメント用語の流通状況を把握して
内部不正の防止と管理の対策をご提言いたします。

サービス実施の流れ

事前準備	情報の保有・流通状況の確認	ご報告
アセスメントツールの利用準備と、アセスメントで必要な情報と用語の選定を実施。	アセスメントツールに以下要素の設定を行い、2週間程度情報保有・流通状況を確認。	確認した情報をもとに報告書を作成して報告。
機密情報 ハラスメント	対象組織 機密情報 可視化ポリシ ハラスメント 可視化ポリシ	
1weeks	2weeks	1weeks

関連サービス

実態把握で可視化された課題に対する対策サービスを幅広くラインナップしております。
計画策定支援から導入・評価・改善計画立案までワンストップで提供することが可能です。

計画	実行	評価	改善
セキュリティ対策マップ策定支援	情報持ち出し対策支援	脅威可視化アセスメント	セキュリティ対策マップ更改支援
規程見直し支援	ハラスメント対策支援	監査	規程見直し支援

TIS株式会社
IT基盤技術事業本部 IT基盤技術事業部
〒135-0061 東京都江東区豊洲2-2-1豊洲ベイサイドクロスタワー
E-mail. ps-info@ml.tis.co.jp